



落雷対策は必要？

落雷による電子機器の故障のリスク

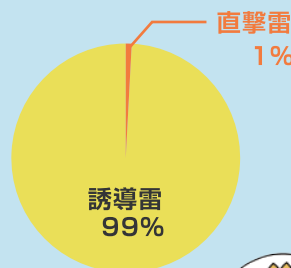


近年、デジタル化により、さまざまなネットワークシステムが建物内に張り巡らされ、さらに情報端末機器の小型化による雷耐性の低下、ネットワーク化による雷サージの侵入経路の複雑化による雷のリスクが増加しています。落雷による事業停止の年間被害額は推定 2000 億円とも言われています。今回は、オフィスや工場などの事業やデータ、電子機器などを守るための落雷対策をご紹介します。

雷サージとは

雷サージとは雷が落ちる時に、瞬間的に高い電圧（異常高電圧）が発生して、その異常高電圧の影響で異常な過大電流が流れることを言います。建物や電線などに直接落雷した場合には非常に大きな雷サージが流れ、建物や電気設備に大きな被害を与えます。また、離れた場所での落雷でも、電源線や通信線に誘導され雷サージが発生することもあります。雷サージには、直撃雷、誘導雷の2種類があります。雷被害は直撃雷のイメージがありますが、その被害の99%は誘導雷などが原因です。そのため雷サージ（主に誘導雷など）対策の必要性は近年高まっています。

雷被害の種類



対策方法

SPD（サージプロテクター）

近場の落雷によっても雷サージは発生します。侵入する雷サージから機器を保護してくれるのが SPD です。SPD を設置することで、侵入した雷サージを電子機器の中を通らずに逃げ道を通してアースに流すので、電子機器は安全に保護されます。



UPS（無停電電源装置）

UPS は、主電源が途切れた場合に一時的に電力供給を補完する装置です。落雷による停電や電圧の急変などの問題が発生した場合でも、UPS は電子機器に電力を供給し、安全に機器などのシャットダウンをしたり、データのバックアップをするまでの時間稼ぎができます。これにより重要なデータの損失やハードウェアの損傷を防ぐことができます。ただ UPS は雷サージを防ぐ機能はないので、SPD との併用をおすすめします。



雷対策をご検討の際は **エムズ** にご相談ください。

スマホ熱中症に注意！ 火事につながるケースも...



猛暑の影響で熱中症とみられる人が全国で増加傾向にある中、夏場はスマホやパソコンなどの電子機器の故障や動作不良などのトラブルも増える時期です。

このようなトラブルが増える原因は、電子機器本体からの放熱に加え、外気の温度の影響を受けている可能性があります。

弊社にも「電源が入らない」「動作が遅い」などの相談がこの時期は多く寄せられています。

スマホやパソコンなどの精密機器は外気の温度の影響を受けやすく、CPU など機器自体にもダメージを与えてしまいます。

会社内などは、エアコンや扇風機などで室温が管理されていて、そこまで温度の心配はないと思いますが、屋外でスマホやパソコンを使用していると本体が異常に熱くなり、動作が重くなったり、電源が落ちたりすることもあります。

最悪の場合にはバッテリーの発火につながり火事の恐れがあるため、注意が必要です。



もしも機器が熱中症になったら

○ 対策方法

充電しながら使っている場合は、すぐに充電を止めて、起動しているアプリを閉じて、電源をオフにしましょう。また扇風機の風を優しく当てたり、風通しの良い場所に置き様子を見ましょう。



✗ やってはいけないこと

機器に保冷剤を当てたり、冷蔵庫に入れて冷やすことはNGです。急激な冷却は、結露が発生する原因となり水没症状が出る場合があります。徐々に温度を下げるようにしましょう。



📷 エムズのインスタ

エムズ公式
インスタグラム始めました

フォローすると
いいことあるかも!?



@MS_SYSTEM3

編集後記

9月に入っても厳しい残暑が続いてますね... スマホやパソコンの熱中症とともに、自らの熱中症にもまだまだお気をつけてください。暑さの影響か、食欲も落ち夏バテ気味ではありますが、もう少しすると秋ですね。食欲の秋、読書の秋、運動の秋などいろいろな楽しみ方があって大好きな季節です。なんとか残暑を乗り切って、秋を満喫したいと思います。



株式会社 エムズ・システムサービス
☎ 0120-377-167
<http://www.ms-sys.co.jp>

本社
〒525-0071 滋賀県草津市南笠東1丁目
14-36 エムズスクエア 1F-A
TEL:077-563-2377 / FAX:077-563-2388
彦根営業所
〒525-0081 滋賀県彦根市京町1丁目
3-15 SUN VALLEY 彦根
TEL:0749-49-2388 / FAX:0749-49-2399

京都営業所
〒600-8216 京都市下京区西洞院通
木津屋橋上ル東塩小路町 607 辰巳ビル 5F
TEL:075-353-1670 / FAX:075-353-1680
AOIBASE KARASUMA
〒600-8082 京都市下京区高倉通四條下る
高材木町 225-1 Metro Miru Building 5F
TEL:075-353-0006 FAX:075-353-0006



バックナンバーは
こちらをチェック!